

文部科学省「WFL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業」 における「カリキュラム開発拠点校」としての指定について

学びの改革支援課

1 「WFL コンソーシアム構築支援事業」について

(1) 事業概要

- ・ Society5.0 に向けて高校教育改革を推進するリーディングプロジェクトとして、文部科学省が平成 31 年度から実施。平成 31 年度 10 校、令和 2 年度 12 校を指定。
- ・ 本年度、「カリキュラム開発拠点校」として上田高等学校を指定（指定期間は原則 3 年）。
- ・ 今後 5 年間ほどで AL ネットワークを形成した拠点校を、全国に 50 校程度配置する予定。

(2) 趣旨

- ・ 将来、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材の育成が目的。
- ・ 高等学校と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生に、より高度な学びを提供する仕組み(AL ネットワーク)の形成を目指す。

(3) 事業内容

ア 管理機関（長野県教育委員会）

- ・ 県内各機関と連携して高校生の学びを支援するプラットフォームを構築。（県内大学や企業との橋渡し。）
- ・ 高校生学びのフォーラム（現「私のプロジェクト」発表会）の開催。
- ・ AL ネットワークによる取組を広く共有。

イ カリキュラム開発拠点校（上田高等学校）・共同実施校（松本県ヶ丘高等学校）

- ・ SGH 5 年間の取組を継続し、その成果を共同実施校や連携校に波及させる。
- ・ 高度な学びにつながるグローバルな社会課題研究のカリキュラムを開発。
- ・ AL ネットワークの学校による合同成果発表会を開催。
- ・ 海外研修プログラムへの拠点校と共同実施校の相互乗り入れ。
- ・ 令和 4 年度、高校生国際会議を開催。

2 管理機関の取組

(1) 研究開発構想名

「SDGs 未来都市長野」から世界へつなげる信州版 AL ネットワーク

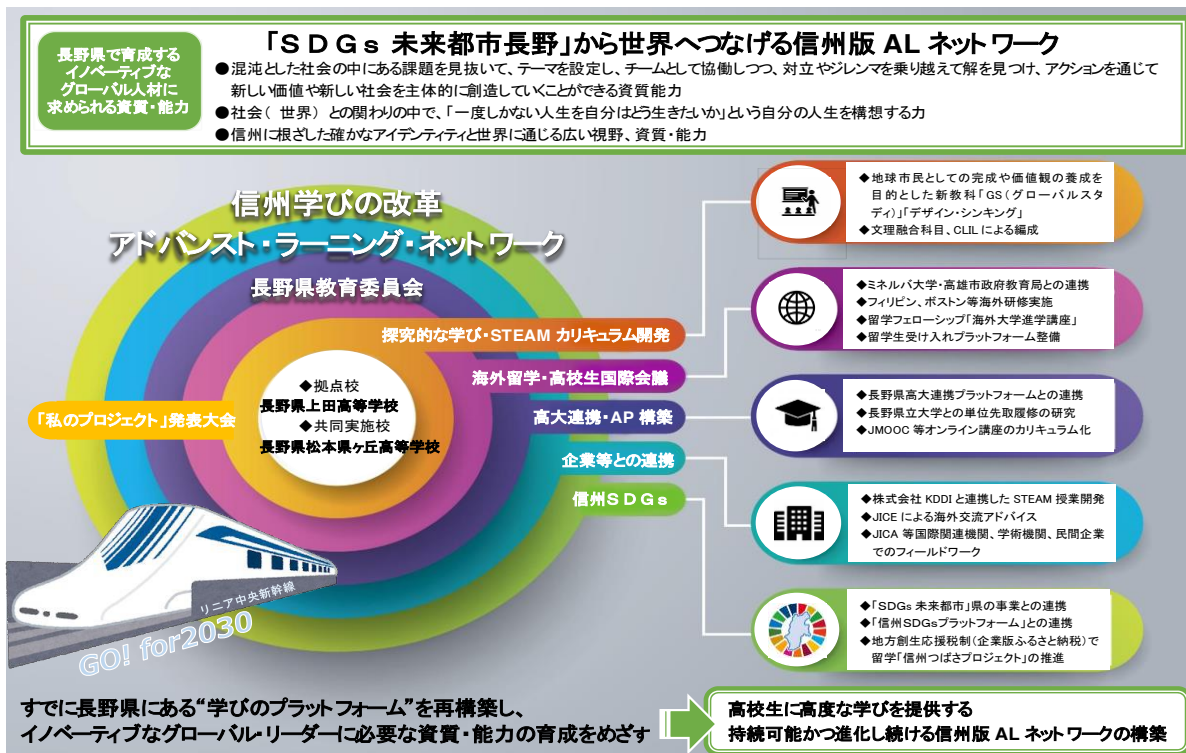
(2) 構想概要

共同実施校の松本県ヶ丘高等学校をはじめ大学や企業などの事業協働機関、国内外の 13 の高校と連携し、長野県の公立高等学校の生徒たちに単独校では得られない教育の機会を与え、新しい価値や新しい社会を主体的に創造していくことができるグローバルリーダーの育成を目指す。

3 上田高等学校の取組

- (1) これまでの SGH の取組の深化
 - ・課題研究、海外研修、学外での発信、フィールドワーク等
- (2) 新たな取組：『「いのち」を視点に総合的・全体的アプローチによって SDGs を探究する』
 - ・文理融合、STEAM 教育を意識した新科目の設定
 - 「グローバルチンシップ」：現行の国際関係論をベースに地球市民としての生き方を考える。
 - 「デザイン・シンキング」：問題解決のアプローチや解決方法についてゼミナール方式で学ぶ。
 - ・海外研修の AL ネットワーク内での相互乗り入れ
 - ・高校生国際会議の開催（令和4年度）
 - ・海外大学生のインターンシップ受け入れ
 - ・大学との先取履修の実施にむけた研究
- (3) 共同実施校：松本県ヶ丘高等学校

共にカリキュラム開発を行う。海外研修を共有する。
- (4) 連携校：(県内9校、台湾4校)
 - ・長野高等学校、篠ノ井高等学校、屋代高等学校、上田染谷丘高等学校、野沢北高等学校、伊那北高等学校、飯田高等学校、松本深志高等学校、長野西高等学校
 - ・延平高級中学、苗栗高級中学、新竹女子高級中学、科学工業園区実験高級中学
 - ・拠点校と共同実施校が研究開発に取り組む科目やプログラムの共有。会議への参加も可。
- (5) 協働機関
 - ・KDDI、一般財団法人日本国際協力センター(JICE)、台湾高雄市政府教育局、ミネルバ大学、長野県知事部局各課



WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業「カリキュラム開発拠点校」



文部科学省

事業概要

これまでのスーパーグローバルハイスクール（SGH）事業などの取組の実績を活用

- ◆ 将来、イノベティブなグローバル人材を育成するため、文理両方を学ぶ高校改革と高大接続改革を推進するリーディング・プロジェクト。
- ◆ 高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生により高度な学びを提供する仕組みを構築。
- ◆ グローバルな社会課題研究のカリキュラム開発や研究内容と関連する高校生国際会議の開催。
- ◆ 大学教育の先取り履修などの高度かつ多様な科目内容を生徒個人の興味・関心・特性に応じて、履修可能とする高校生の学習プログラム／コースを開発・実践。

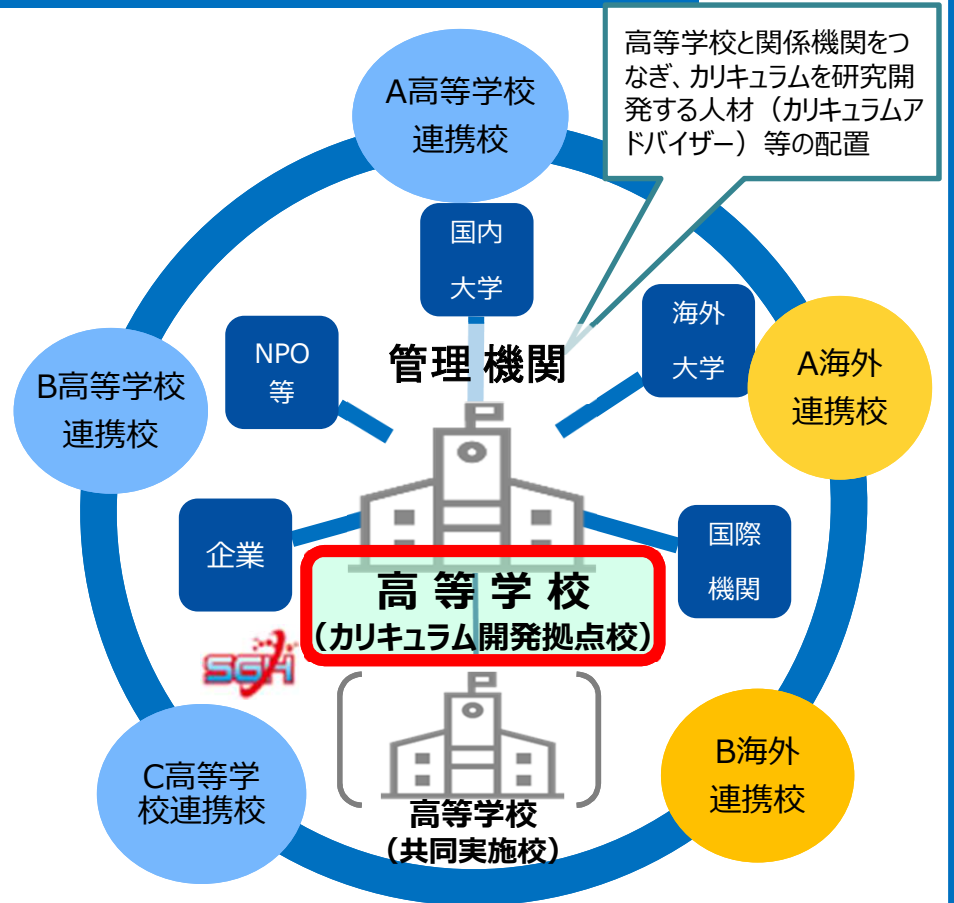


【高校生ESDシンポジウム2018年11月】

上記の取組を実施する「カリキュラム開発拠点校」を文部科学大臣が指定

- 対象学校：国公立高等学校及び中高一貫教育校
- 指定期間：原則3年
- 指定学校数：22校
(R2指定：12校・R元指定：10校)

アドバンスト・ラーニング・ネットワークのイメージ



国際会議の開催等により、プロジェクトが効果的に機能するよう高校間のネットワークを形成

今後5年間ほどでアドバンスト・ラーニング・ネットワークを形成した拠点校を全国に50校程度配置し、将来的にWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムへとつなげる